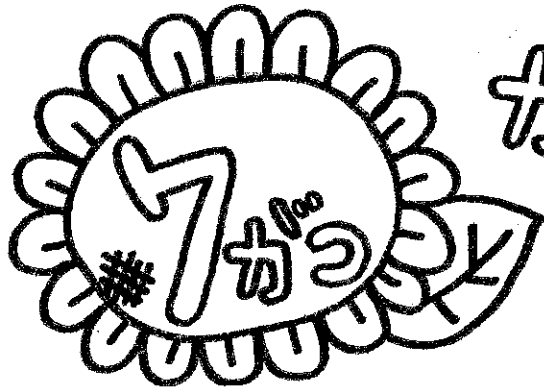




がせ*そら*たいようぐみ

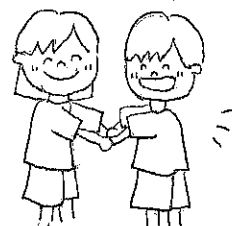
えんまちまるおりんおえん 7.31(月)

セミの声が 門に入ってきて、すっかり夏本番となりました。
7月3日に プール開きがあり、プールに入れることを楽しみにしている
子どもたちです。プールでの 水遊びや 寒天や スライムなどの 感覚遊びで
身も心も開放的に なって 遊ぶことを 楽しんでいます。沢山 遊んだ後には、
いっぱい 食べて しっかり 休息を取り、熱中症や感染症の予防に 気をつけ、
暑い夏を 元気に 過ごしていきたいと 思います。

がせ組 新しいお友だちが 増えて14人になったがせ組です。7月から楽しみにしていたプールが 始まりました!! 色々なお友だちと 一緒に プールで 水遊びや 顔つけをして いた 夕やなぎミツに 楽しんでいます。8月も 十分に 楽しみたいと 思います。

里芋菜の収穫
5月に 苗植えをした キュウリと ナスびが 大きくなり 収穫できるようになりました。いつも 調理された 状態でしか 見ない 里芋菜が どういう 過程で 育っていくのか 水やりをするたび(に) 生長に 気付き 喜んで いる姿が 見られました。また 里芋菜だけでなく 花や 葉、(は)のこも 向け 角虫(たり)と 子どもたち ならの 気づきや 発見が ありました。収穫した 里芋菜は 給食室へ 持ち、て 行き 調理 してもらいました。「早く 食べたい」という 子どもや 里芋菜が 苦手な 子どもも 「食べてみる!」と 皆で 美味しく 頂きました。これから も また たくさん 収穫が できそう です!! 里芋菜を 育てて 収穫し 食べる 経験を通して 「食べる 喜び」を 味わって (おいしいと) 思います。

ぶつかり合いは心の成長
3歳から4歳、この時期は 自我が 育ち 独立した 存在として 行動しようとする 成長の 時期です。友だちへの 興味・関心 が 高まり 角虫(たり)合う 機会が 多くなった 分 気持ちの ぶつかり合いや 自分の 主張を 通したい 気持ちも 強く 出てくる 時期でもあります。喧嘩の 際、大抵なのは すぐに 「ごめんね」と 言って 終わりに することよりも お互いが 納得すること だと思います。時々 お互い 怒っていたのに (いつのまにか) その 内容を 忘れて クロッと 仲直り している こともあります。大人から すると 問題 解決 している ように 見えなくても 喧嘩した 相手と また 笑い合える ことも よい 経験 だと思います。子どもたちは ぶつかり合いを通して 言葉で 相手を 説得 したり お互いに 納得する方法を 考えたりと 沢山の ことを 学んでいます。まだまだ 子ども同士で 解決すること(は) 難しい けれど 必要に応じて 気持ちを 代わって いきながら 関わりを見守って いきたいと 思います。



そらぐみ

●七夕制作 自由遊びの時、折り紙に興味を持って楽しんで いる 姿や、ハサミを使った 制作を 楽しんで きたので、折り紙、ハサミを使って七夕飾りを作りました。
「折り紙も折って 切り、のりで 貼る」、大人にとっては、とても 簡単な エッセイのように 思ったのですが、子どもたちにとっては 難しかったです。特に、折った 折り紙を 切るのに 苦戦 している ようでした。一枚の ペラッとした 紙を 切るのではなく、重なる 2枚の 紙を 切る ことになるので、ずれてしまい、上手に 切れず、次第に どこも 切っているのか 分からなくなること がありました。また、ハサミで 途中まで 切ること 難しかった ようで、どうしても 最後まで 切ってしまう 姿が ありました。そこで、子どもから 「ストップ」という 声があり、保育者は 「なるほど」と ハッと しました。それ以来、ドキドキしながらも、保育者の 「ストップ」の 声を 待ちながら、ちょっとずつ 切っていました。子どもと 保育者の やりと 声が 段々 楽しくなり、笑顔になる 子どもたち でした。
完成すると、早く お家へ 持って 帰りたいと、「きょうも つかえる?」と 聞いてくる 姿があり、世に 飾りつけをすると、お家の方に 「これつくったよ」と 見せて 喜んで いました。まだまだ 指先 の力が 弱く、不器用な 子ども にも、すぐに 指先が 器用になる わけではありませんが、指先を使った 経験を 積み重ねることで、使える ようになります。また、指先を使うことで、脳にも 刺激を与え、活性 されるので、これから も 指先を使った 遊びも 楽しめる ように していきたいです。

●プール みんな、プールを 楽しみに しています。顔に 水しぶきが かかると、「もう!」と 怒っていた 子どもたち でした。7月後半になり、水に 顔を つけられる ように なりました。中には、頭まで、ぼろりと 水の中に つけられる ように なった 子ども もいます。頭を 水の中につけて、プール中を 移動 できるようになりました。とても 自信に 満ちた 表情に なっています。一方で、まだ ちょっと 怖いな 子どもも、しかし、友だちの 姿を見て、その 子ども なりに 何とか 水に 顔を つけよう としています。また、8月も プールは 続きます。水に 顔を つけられる ように なった 子どもは、次は、目を 開けて つけられたい、つけるのが 怖い 子どもは、一瞬でも できる ようになる など、一人ひとり、ペースで 進む ようになる ことは、とても 水遊びを通して、心も 身体も 大きくなって 自信に つながった らしい なと 思います。



たいようぐみ

本格的な 夏に入り、暑い日が続いて いますが、とても 元気に 過ごしている 子どもたち です。プールに入る ことを 毎日 確認し、プールカードに 丸がついているか、保育者の 話を 聞きながら 楽しみに しています。たいようぐみでは、少人数で 入る 時もあり、水が 苦手な 子ども も いますが、少しずつ 慣れ、身体を 沈めたり、水の かけあいに 参加 することも 増えて きました。また、顔を 何秒 つけられるか など、子ども 同士で ゲームを しながら 楽しんで います。今月は 主に プールの 始まり でしたが それ以外にも 色水あそびや ちよとした スライム 作り 体験も しました。夏の 様々な 体験を 子どもたちが たくさん 吸収し、「うちでも したよ」という 言葉が 聞けると とても 嬉し です。8月末には、お泊り 保育も あります。楽しみに している こと あれば、実感が まだ できて なかったり、泊まる ことへの 不安が 出ている 子ども たち も います。準備 期間を通して、子どもたちが 楽しみに 待てる ということ と思います。また、7月には あまり 出来なかった 感覚あそびも していきたいです。

初めての陶芸

7月25日に 陶芸の 先生が 来られ、体験を しました。日頃 から 粘土あそびを 好んで よくして おり、カレンダーを見ながら ずっと 楽しみに 待っていました。いつも 使う 粘土とは 少し 違う 粘土の 感触を 感じながら、話を 聞いた 通りに 手の 平で 広げて いき、今回は お皿を 作って みました。指先や 手を うまく 動かしながら それぞれのお皿の 形や 違う 模様を どんどん 生み出 していました。中には、粘土から お皿や コップが 出来ると 初めて 知った 子ども も いた ようで、焼き 上がりを楽しみに していました。



時間を意識しながら

時計の 文字や 理解を している 子どもは まだ 多いとは言えませんが、「あ! もう 少したら 片づけ なんだな」という 見通しをもって もらいたい と思い、声かけを しています。小学校に 上がった 決まった 時間に 終わり、始まる ということをして いかなくては いけない ように なってくると 思います。5歳児は 「過去」「現在」「未来」の 概念も 少しずつ 分かって くる ようになる ので、日々の 生活の中 でも、まだ 遊びたい 気持ちが ある ことも 受けとめながら ある 程度 先の 見通しが 持てる ように 見守りながら 声かけを していこう と思います。

